



夏期における水難・山岳遭難の防止

水難防止に向けて

- 悪ふざけはやめましょう
水の中では、ちょっとしたいたずらが生命に関わる事案に発展しかねません。
- 子供から目を離さないでください
水辺では、子供から目を離さないようにしましょう。また、日頃から子供に対し、危ない場所に近づかないようにしましょう。
- 大人も注意し、飲酒後の遊泳はしない。
海や川、池等では、自身の経験や体力、泳力を過信せず、慎重な行動に努めましょう。特に、飲酒後の遊泳はやめましょう。
- 救命胴衣があなたの命を守ります
ご自身やご家族等の大切な命を守るためにも、水辺では救命胴衣を着用しましょう。

ヨット・モーターボート・水上オートバイなど利用者の皆さんへのお願い

- 遊泳者等への接近や危険行為は止めましょう。
遊泳者との事故防止のため、海水浴場には水上オートバイやモーターボート等
を乗り入れないでください。
その他の場所でも周囲の状況を確認し、他者に危険が及ばないようにしまし
う。

山岳遭難防止に向けて

- 登山計画の策定、登山届の提出
 - ・ 日程・ルート
最も体力や経験がない人を基準にルートを選ぶほか、日程に余裕のある計画を立てましょう。
 - ・ 装備
低い山でも侮ることなく、スマートフォン(携帯電話)と予備バッテリー、ラジオ、地図、方位磁石、非常食、ライト、雨衣などを準備しておきましょう。
- 安全な登山に向けて
 - ・ 登山は「万全な体調」で
体調不良時は登山を控えましょう。
また、登山中も水分等の補給に努め、体の不調を感じたときは直ちに登山を中止し、状況によっては救助を要請しましょう。
 - ・ 無計画な登山や安易なルート変更は止めましょう
県内の山岳遭難で、一番多いのが「道迷い」です。
日が暮れて道が分からなくなったり、急にルート変更して道に迷ったりするケースが散見されますので、安易なルート変更は控え、計画的な登山に努めましょう。